



JFA/Jリーグ協働事業（JJP）の事業・支援概要

JJP : JFA/J.League Cooperative Development Programme

4年間のおよその予算配分



(6月理事会資料から抜粋し、一部の表記を修正)。

単位は百万円

		2015	2016	2017	2018
フットパス	評価、サポート	100	100	50	0
	改善支援	0	60	130	190
国際経験	海外遠征支援	80	80	80	80
	国際大会開催支援	80	80	80	80
	指導者海外研修	20	20	30	40
女子	育成・強化	40	40	40	40
全国指導者研修		30	30	30	30
データベース		40	90	40	30
ダイレクター、スタッフ		20	40	40	40
合計		410	540	520	530

※ 実務では不要不急の支出を慎むため、予定金額に達しないことも想定される。

1. 国際経験 海外遠征支援

(1) 事業の内訳

① JFA/Jリーグ事業 約30百万円/年

- ✓ 2015年: J選抜(U-13、14)の新規遠征17百万円 | アジア・チャンピオンズ・トロフィー10百万円 | Kリーグ U-17チャンピオンシップ2百万円など
- ✓ 2016年(予定): JFAラージ遠征15百万円 | JFAエリート2百万円 | アジア・チャンピオンズ・トロフィー10百万円 | Kリーグ U-17チャンピオンシップ3百万円など

② Jクラブ支援 約50百万円/年

(2) 支援概要

- ① Jクラブのアカデミーチームによる海外遠征を支援
- ② 選手、スタッフ、および都道府県の指導者の国際渡航費を支援対象とする
- ③ 2015年は、渡航費をほぼカバーする支援とする(10~12月の遠征が対象)
- ④ 2016年は渡航費の一部を支援する(より多くの遠征を支援する)
- ⑤ 評価基準: 遠征の目的 | 参加大会、対戦チームの水準 | クラブのアカデミー活動全般への評価 | クラブ間のバランス

2. 国際経験 国際大会開催支援

(1) 事業の内訳

- ① JFA/Jリーグ事業 約44百万円(2015年)、約40百万円(2016年)
 - ✓ 2015年: 日メコン国際招待2百万円 | JリーグU-16チャレンジの国際化、および秋開催20百万円 | ジュースカップ国際化20百万円など
 - ✓ 2016年(予定): ジュースカップ国際化20百万円 | U-18ASEAN選抜招待10百万円 | その他10百万円など
- ② 47FA支援 約36百万円(2015年)、約40百万円(2016年)

(2) 支援概要

- ① 日本国内で開催する育成年代(第2、3、4種に相当)の国際大会を支援
 - ✓ 原則として、Jクラブが参加していること
- ② 海外チームの選手、スタッフの国際渡航費を支援対象とする
- ③ 2015年は、渡航費をほぼカバーする支援とする(10~12月の国際大会が対象)
- ④ 2016年は渡航費の一部を支援する(より多くの国際大会を支援する)
- ⑤ 評価基準: 新規大会、または新たに国際化する大会 | 既存大会だが支援を受けて内容を改善できる | 参加チームの水準 | 適切な開催概要 | FA間のバランス

3. 国際経験 指導者の海外研修支援

(1) 事業の内訳

- ① Jクラブ支援 20百万円/年 ※コーチを直接支援することもある

(2) 支援要領(概要)

- ① 下記要件を満たし、JFA技術委員会が選定した指導者の、原則として1年間の海外研修を支援する
 - ✓ 対象はJクラブ所属でJFA B級(調整中)以上の指導者、または選手として顕著な実績がありJFA技術委員会の推薦を受けた者
 - ✓ 原則として1年間程度、主にアカデミー部門において学ぶこと
 - ✓ 帰国後、Jクラブ、47FA等において、指導者として日本サッカーに十分に貢献すること
- ② 留学中の生活費、および任地と日本の海外渡航費を支援する(調整中)
- ③ 留学先は指導者の希望を参考に、JFA/Jリーグが調整する
- ④ 指導者は月次レポート、帰国時の総括レポートを提出し、かつ帰国後に報告会を開催する

4. 全国指導者研修

(1) 日本代表強化指針共有研修会(仮称)

- ① 47FA支援 約22百万円
- ② 47FAが、主に2種から4種の指導者に実施する、日本代表強化指針共有研修会を支援する
 - ✓ 伝える対象年代ごとに工夫することを前提に、各FA最大3回の研修会を支援対象とする
 - ✓ 支援金は、講師関連費用、会議室代、グラウンド代に充当する
- ③ 主たる講師はJFAインストラクター、またはJクラブに所属する指導者(原則としてアカデミー・ダイレクター)とする
 - ✓ JFAは、JFAインストラクター以外の講師向けの、事前研修を開催する
- ④ 47FAは本研修を、リフレッシュ研修会として実施することができる

(2) フェラン・シビラ氏(JFAアカデミー福島コーチ。スペイン)による巡回講習会

- ① Jクラブ及び47FAに対する支援 約8百万円
- ② Jクラブ又はモデル地区トレセンで開催する、フェラン・シビラ氏巡回講習会を支援する
 - ✓ U-12、U-14を対象とする、実技と講習
 - ✓ 支援金は、講師の交通費・宿泊費・食費等、会議室代、グラウンド代に充当する

(3) 2016年も、同様の枠組みの支援を予定する

1. フットパス(©ダブルパス社)

(1) 2015年 7クラブ、2016年 34クラブをオーディット

- ① 2016シーズンのJ1、J2クラブおよびJFAアカデミー福島が対象
- ② 2017年以降、JJPの支援対象事業を選定する際、フットパスの評価が考慮される

(2) JFA/Jリーグの育成システム全体も、オーディットを受ける

2. 企画中の事業

(1) 女子の育成強化

- ① U-15(中学生年代)のチーム及び試合環境の充実をはかる
- ② Jクラブの女子への取り組みを促す施策とする

(2) 育成データベース

- ① 要求仕様を検討中